

## 使用説明書

使用前には必ず本説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。

2023年9月改訂（8版）

動物用医薬品

承認指図書番号 5動薬第575号

貯法 遮光して2～10℃

有効期間 2年間

販売開始 2010年6月

## 動物用生物学的製剤

劇薬 要指示医薬品 指定医薬品

# “京都微研”キャトルウィン-BO 2

牛クロストリジウム・ポツリヌス（C・D型）感染症

（アジュバント加）トキシイド（シード）

### 本質の説明又は製造方法

本剤は、クロストリジウム・ポツリヌスC型菌BC01株及びD型菌BD02株を人工培地で増殖させた菌液にホルマリンを加えて菌の不活化と毒素の無毒化をした後、その上清を濃縮し、水酸化アルミニウムゲルを加えて調製したものである。

本剤は不透明な淡黄灰白色の液体で、静置すると灰白色の沈殿を認めるが、振盪すれば、均質で不透明の液体となり、pHは6.7～7.4である。

### 成分及び分量

1バイアル10mL（10頭分）中

成分	分量	
主剤	クロストリジウム・ポツリヌスC型菌 BC01株（シード）トキシイド	2.5×10 <sup>5</sup> LD <sub>50</sub> 以上（トキシイド化前マウス致死活性）
主剤	クロストリジウム・ポツリヌスD型菌 BD02株（シード）トキシイド	1.0×10 <sup>7</sup> LD <sub>50</sub> 以上（トキシイド化前マウス致死活性）
不活化剤	ホルマリン	0.02mL以下
アジュバント	水酸化アルミニウムゲル（アルミニウム量として）	16.5mg以下
希釈液	生理食塩液	残量

### 効能又は効果

牛のポツリヌス症の予防

### 用法及び用量

1 mLを2か月齢以上の牛の筋肉内に4週間隔で2回注射する。

### 使用上の注意

#### 【基本的事項】

- 守らなければならないこと  
【一般的注意】
  - 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
  - 本剤は効能又は効果において定められた目的のみ使用すること。
  - 本剤は定められた用法及び用量を厳守すること。
  - 2回目の注射は、1回目の注射とは異なる部位に行うこと。  
【取扱い及び廃棄のための注意】
  - 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
  - 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
  - 本剤には他の薬剤（ワクチン）を加えて使用しないこと。
  - 使用時よく振り混ぜて均一とすること。
  - 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものを除く。）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
  - ワクチン容器のゴム栓は消毒し、無菌的に取扱うこと。
  - 注射部位は消毒し、注射時には注射針が血管に入っていないことを確認してから注射すること。
  - 注射器具（注射針）は1頭ごとに取り替えること。
  - 一度開封したワクチンは速やかに使用すること。

使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。

- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 直射日光、加温又は凍結は本剤の品質に影響を与えるので、避けること。また、凍結すると容器が破損することがある。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分量の許可を有した業者に委託すること。

## 2 使用に際して気をつけること

【使用者に対する注意】

- 誤って人に注射した場合は、患部の消毒等適切な処置をとること。誤って注射された者は、必要があれば本使用説明書を持参し、受傷について医師の診察を受けること。

### 本ワクチン成分の特徴

微生物名	抗原		アジュバント	
	人獣共通感染症の当否	微生物の生/死	有無	種類
クロストリジウム・ポツリヌスC型菌	当	死(トキシイド)	有	水酸化アルミニウムゲル
クロストリジウム・ポツリヌスD型菌	当	死(トキシイド)	有	

- 開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。
- 事故防止のため、作業時には厚手の手袋等を着用すること。

【牛に関する注意】

- 本剤注射後、注射部位に一過性の腫脹、硬結等が認められる場合がある。
- 本剤の注射後、激しい運動は避けること。
- 本剤の注射後、少なくとも2日間は安静に努め、移動等は避けること。
- 副反応が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

【取扱いに関する注意】

- ワクチン容器は破損をしておそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。

### 【専門的事項】

- 警告
  - 本剤の注射前には健康状態について検査し、重大な異常（重篤な疾病）を認めた場合は注射しないこと。
- 対象動物の使用制限等
  - 牛が、次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、注射の適否の判断を慎重に行うこと。
    - 発熱、下痢、重度の皮膚疾患など臨床異常が認められるもの。
    - 疾病の治療を継続中のもの又は治癒後間がないもの。
    - 分娩後間がないもの。
    - 明らかな栄養障害があるもの。
    - 他の薬剤投与、導入又は移動後間がないもの。

(2) 本剤は妊娠牛には注射しないこと。

3 重要な基本的注意

(1) 初回投与が20か月齢以上の搾乳牛では、抗体応答が低くなる事例が認められるので、注射月齢を考慮すること。

**【薬理学的情報等】**

**（臨床成績）**

19施設、431頭の牛を対象とした市販後調査において、重篤な副反応は認められず、本剤の安全性が確認された。このうち、143頭を対象に抗体応答を確認したところ、C型毒素に対して85%、D型毒素に対しては69%の有効抗体保有率であり、本剤の有効性が確認された。

**（薬効薬理）**

用法及び用量どおりに本剤を注射すると、2回目注射1週間後から有効抗体が誘導され、7か月間、各毒素に対する防御効果が確認された。

**包 装**

1バイアル 10mL (10頭分)

**製品情報お問い合わせ先**

株式会社微生物化学研究所 管理部 業務物流課  
〒611-0041 京都府宇治市横島町二十四16番地  
TEL : 0774-22-4519 FAX : 0774-22-4568

**販売元**

**ささえあ製薬株式会社**

東京都品川区上大崎2丁目13番2号

**製造販売元**

株式会社微生物化学研究所

京都府宇治市横島町二十四16番地

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記**製品情報お問い合わせ先**に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。